

# 湯沢CS通信

令和5年9月15日 第63号  
(発行) 湯沢市教育委員会  
学校教育課 CS担当

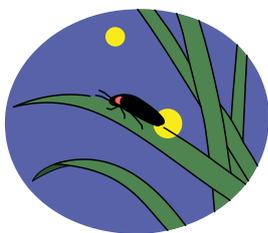
今回は、学校運営協議会の委員の皆さんが委員として主体的に活動している二校の実践を紹介します。

## 湯沢東小・学校運営協議会の実践

### 〈地域とのつながりを深めている事例〉

湯沢東部地区まちづくり協議会では岩の沢・山谷に沿って流れる山谷川周辺でホタル観賞会を実施しています。東小の学校運営協議会の委員の一人が湯沢東部地区まちづくり協議会会長の元に出向き、東小の学校運営協議会との連携した取組を持ち掛けたところ、会長は二つ返事で了承してくださったそうです。今年度はホタルの時期が終わりに近づいてしまっていることから、実際の活動は来年度からになるそうです。

東小の子どもたちにとっては豊かな体験活動の場が増えること、湯沢東部地区まちづくり協議会としては、参加者が増える地域活性化につながること、お互いがウィンウィンの関係になります。委員の主体的な働きかけにより、CSが求めている学校と地域が連携して子どもを育てる取組が実現することになりそうです。多くの子どもたちがホタルを鑑賞し、幻想的な光に感動するとともに、ホタルを知ることによって自然環境を守っていく気持ちが育ってくるとよいですね。



### 〈CSについて保護者・地域住民に理解を広める事例〉

学校運営協議会の場で示されたCSについての資料が文字だけで分かりにくかったことから、委員の一人がCSとは何かについて公益社団法人日本PTA全国協議会で作成している動画を参考に、漫画風のスライドを作成しました。新人委員のヒロキさんとベテラン委員のみほさんを登場させて、とても親しみやすく分かりやすい内容になっています。

また、CSを取り入れるメリットについて「子どもにとっての魅力」と「保護者にとっての魅力」に分けて、イラスト付きの分かりやすい資料を作成しています。東小学校では、これらの資料を今後どのような場で活用していくかを検討しています。

湯沢市としてもCSの推進に向けて、「保護者・地域住民・教職員へCSの具体像やCSのよさが伝わっていないこと」が大



きな課題になっていきます。このような資料を有効に活用させていただき、CSについての理解を広めていきたいと考えています。

### 子供にとっての魅力

- 子供たちの地域の学びや体験活動が充実します。
- 自己肯定感や他人を思いやる心が育ちます。
- 地域の担い手としての自覚が高まります。
- 防犯・防災等の地域対策によって安心・安全な生活ができます。

### 保護者にとっての魅力

- 学校や地域に対する理解が深まります。
- 地域の中で子供たちが育てられているという安心感があります。
- 保護者同士や地域の人々との人間関係が構築できます。



1 ようするに学校の運営に必要な支援について学校と地域の大人、PTAで話し合っていきたいと思いますという協議会なの。



コミュニティ・スクールの主な役割は三つよ

## 雄勝小・学校運営協議会の実践

〈学校の課題解決に向けて委員が積極的に関わっている事例〉

雄勝小では、第一回の運営協議会で校長が学校の課題を示しました。その一つであるキヤリア教育の充実に向けて学校運営協議会の中にプロジェクトチームを立ち上げ、学校をバックアップしていくことになりました。現在四年生が行っている枝豆の生産・販売の活動を五・六年生のキャリア教育にどう結び付けていくかについて検討しました。五年生は職場体験、六年生は商品開発を行うことになりました。私が参加した三回目の会議では、六年生の商品開発の具体が話し合われました。



〈ねらい〉アウトプットする力と地域に貢献しようとする気持ち

を育む

〈学習活動〉・地域の企業(四社)の方から話(企業課題)を聞く  
 ・ 専門家から企画書の作成について聞く  
 ・ 企業の悩みを解決するための企画書を作成する  
 ・ プレゼンテーションを行う

企業への交渉や企画書を作成するための講師の手配は委員が行います。また、プレゼンテーションには企業、五年生と中学生、そして保護者や地域住民にも参加していただく計画です。

子どもたちの豊かな発想が生かされ、企業の課題が解決する方向に進み、この学習のねらいが達成されることを期待しています。